

日々の生活に根付く環境活動が地域愛を育てる

## 環境大臣賞 熊本県 益城町立広安西小学校

阿蘇の山々を望む豊かな自然に恵まれた同校は、平成18年から「水の節約」「電気の節約」「ごみの削減」を掲げ、様々な環境活動に取り組んでいる。一方で、隣接する熊本市のベッドタウンとして人口が増加、同校の児童数は現在約750名、数年後には800名に達する勢いで伸びている。そうした大規模校ならではの課題も浮上。特にごみの削減を全校で取り組むことが難しくなってきたため、3Rにリペア、リファインを加えた5R運動などを独自に展開しながら、段階を踏んで全校で生活のムダをゼロにしていく「広西ゼロ・ウェスト作戦」をスタートさせた。この一連の取り組みは、環境教育先進校として県内の小中学校の模範となり数々の賞に輝いた。

児童たちは地域や保護者と連携しながら、より日常生活で環境意識を根付かせるために「広西エコチャレンジ」と称した6つの活動を実践。その一つが「あさエコ」で、主に朝の時間を利用して、ペットボトルなどを回収・分別したり、落ち葉集めをしたりしている。また、「クラスエコ」や「委員会エコ」、「うちエコ」、「マイエコ」では、日々の生活において環境活動を取り入れるなど、家庭や地域住民からは「児童の資源ごみの分別判断が速く、意識の高さがうかがえる」と信頼を集めている。

さらに「地域エコ」では、校区内の企業「グランメッセ熊本」と共同で環境活動を実施。同会場で開催される環境フェアには同校がブース出展、日ごろの取り組みを児童が紹介するなどして啓発を図っている。

こうして地域環境にも関心が向いた児童は、校区に点在する阿蘇からの湧き水があふれ出る「水基」といわれる水飲み場を清掃することを提案し実践。同校の環境委員、植田陽菜（はるな）さんは、「阿蘇からの贈り物である湧き水を未来に残していくためにも、清掃活動を通してもっと地域の人に広めたいです」と願いを込める。美化活動が地域との信頼関係を育て、児童の郷土愛を育てている。



### 熊本県益城（ましき）町立広安西（ひろやすにし）小学校

学校長：徳島 道雄

児童数：742名(2014年11月末現在)・全27学級

住所：熊本県上益城郡益城町福富1001番地

電話：096-289-0700

アクセス：「阿蘇くまもと空港」よりタクシーで約15分

写真上：住民と取り組む資源ごみ回収、写真上から2番目：環境フェアで同校の環境活動を紹介する児童、写真上から3番目：校区内に湧き出る湧水周辺の美化活動、写真下：湧水を地域で紹介する手づくり新聞